

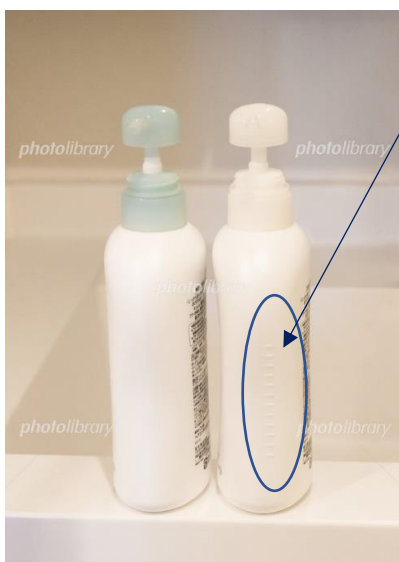
## 身近にたくさんあるユニバーサルデザイン！

ユニバーサルデザインという言葉、聞いたことあるかと思いますが、探してみると身近にたくさんあるんですよ！

性別や背の高低、年齢などに関係なく、誰でもが使いやすかったり理解しやすかったり、という道具やデザイン、設備などなど！ 7つの原則があります。

- ① 誰でも同じように使うことができる（公平性）
- ② 使い方を選べる（自由度がある）
- ③ 簡単に使える（単純性）
- ④ ほしい情報がすぐわかる（明確性）
- ⑤ ミスや危険につながらない（安全性）
- ⑥ 無理なく使える（身体への過度な負担を必要としない）
- ⑦ 利用のための十分な大きさと空間が確保されている（空間性）

よく知られているのはシャンプーとコンディショナー容器の違いですね。



写真では少し見えにくいですが、シャンプー容器には凸凹が付いていて、触れば区別がつくようになっています。



いわゆるピクトグラムもユニバーサルデザインで作られたものになります。



牛乳パックの凹みとか、交通ICカード、クオカードなどの凹みも向きがわかるようになっていますよね。

牛乳パックを力任せに逆から開けたりしてる人いませんか！？！

（但しこの凹み乳製品パックにはありません）

他に、公共のトイレや階段に高さの違う手すりが付いていたり、靴紐がなくてマジックテープで簡単に靴の脱ぎ履きができたり、お子さんと探してみるのも楽しいかもです。その時に「バルアフリー」とは何が違うのか、話し合ってみるのもいいですね。